

新型コロナウイルス感染症の入院医療体制の強化について

1 現在の状況

(1) 病床の確保

現時点で、1,237床（うち重症対応142床）を確保

区分	重症	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症	計
病床数	142床	556床	300床	239床	1,237床

※重症以外の病床のうち42床については、自院の重症化患者にも対応可能

(2) 宿泊療養施設

10施設1,475室を確保するとともに、看護師・オンコール医師の配置や必要に応じた往診の対応に加え、3施設への医師派遣により、医療ケア体制を確保

所在地		神戸	西宮	姫路	計
確保 状況	施設数	7	1	2	10
	室数	936	200	339	1,475
医療 ケア	医師派遣施設数	1	1	1	3
	酸素吸入設置台数	35	10	12	57

(3) フェーズに基づく運用

①病床：900床程度（重症110床程度）（感染拡大期1）で運用（7月29日～）

②宿泊療養施設：若年層の無症状・軽症の感染者が急増していることから、1,500室程度の体制（感染拡大特別期）で運用（8月10日～）

区分		1	2	3	4(国ステージⅢ)	5(国ステージⅣ)	6
		感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期1	感染拡大期2	感染拡大特別期
目安	新規感染者週平均 [週患者数/人口10万人]	30人未満 [5人未満]	30人以上 [5人以上]	70人以上 [10人以上]	110人以上 [15人以上]	190人以上 [25人以上]	総合的に判断
体制構築の考え方	30人の新規感染者に 対応	70人の新規感染者に 対応	110人の新規感染者に 対応	190人の新規感染者に 対応	390人の新規感染者に 対応		
病床	病床数	400床程度	550床程度	700床程度	900床程度	1,050床程度	
	うち 重症病床数	70床程度	80床程度	100床程度	110床程度	120床程度	130床程度～
宿泊 療養	室数	500室程度 (3施設)	600室程度 (4施設)	1,000室程度 (7施設)	1,200室程度 (8施設)	1,300室程度 (9施設)	1,500室程度～ (10施設～)

2 今後の対応

(1) 病床の運用体制

感染者が急増する中、入院者数（重症者含む）についても増加傾向にあることから、感染拡大特別期（1,200床以上）の運用に向け、医療機関に体制強化を要請

※国ステージⅢ：病床利用率20%以上(重症8/8～)、ステージⅣ：病床利用率50%以上(全体8/10～)

(2) 宿泊療養施設の体制強化

①現行の3施設に加え、医師派遣施設の増加に向けて、関係機関と準備を進める。

②無症状・軽症の患者が増加する中、宿泊療養施設の逼迫を防ぐため、さらなる施設の確保について協議を進める。